

地域子ども・子育て支援事業【任意】行動計画

連番	事業名	令和５年度実績	令和６年度実績	令和７年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
1	子育て支援センターの充実	地域子育て支援拠点施設として、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施する。 センター来館者数　34,921人	地域子育て支援拠点施設として、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施する。 センター来館者数　18,874人(新居) 3,011人(新所　R7.1～R7.3)	【変更】 地域子育て支援拠点施設が増設され市内に3箇所となることにより、より身近な場所で安心して子どもと触れ合ったり、保護者同士の交流の場ができる。	こども未来課
2	のびのび預かり保育事業の充実	のびのび預かり保育利用者　1,437人 火・水曜日は子育て支援センターにて預かり事業実施 木・金曜日は健康福祉センターおぼとにて預かり事業実施 (祝日の場合は子育て支援センターで実施)	のびのび預かり保育利用者　1,207人 月・火曜日は健康福祉センターおぼとにて預かり事業実施 (1月～新所子育て支援センターにて実施) 水・木・金曜日は新居子育て支援センターにて預かり事業実施	【継続】 家庭での子育ての負担軽減のため今後も実施する。	こども未来課
3	にこにこ子育て支援事業の充実	西部地域センター　1,063人 ふれあい交流館　487人 北部多目的センター　63人 入出はつつセンター　11人 南部構造改善センター　3人 計　1,627人	西部地域センター　1,306人 ふれあい交流館　467人 計　1,773人	【事業内容の見直しにより廃止】 令和7年度より子育て支援拠点が市内に3か所となり、より身近な場所に親子の交流の場が設けられることによって出張広場の役割を終えたと判断したため。	こども未来課
4	保育園の子育て支援相談事業の充実	保育園6園・こども園6園において、月1回子育て相談日を設け、日常における子育て家庭の育児不安等についての相談を行ったり、子育て情報を発信している。 相談件数　642件 内容(友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排泄等)	保育園5園・こども園7園において、月1回子育て相談日を設け、日常における子育て家庭の育児不安等についての相談を行ったり、子育て情報を発信している。 相談件数　702件 内容(友達・兄弟関係、子どもの行動、食事、発育、排泄等)	【継続】 保護者の育児不安解消のため、充実に努める。	保育幼稚園課
5	幼稚園の子育て支援相談事業の充実	公立幼稚園3園において、月1回又は随時、保護者の要請に応じ子育てや就学に向けての相談を受け、不安解消の一助としている。 相談件数　124回、　207人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	公立幼稚園2園において、月1回又は随時、保護者の要請に応じ子育てや就学に向けての相談を受け、不安解消の一助としている。 相談件数　142回、　112人 内容(友達関係、育児の悩み、就学関係)	【継続】 保護者の育児不安解消のため、充実に努める。	保育幼稚園課
6	保健師等の育児相談事業の充実	母子手帳交付を随時窓口で交付し、妊婦への個別相談を充実させる。切れ目のない支援を行うため、妊娠中からプランを作成し妊娠中からの支援を実施した。	母子健康手帳を随時窓口で交付し、妊婦への個別相談を充実させる。切れ目のない支援を行うため、妊娠中からプランを作成し妊娠中からの支援を実施した。	【継続】 切れ目のない支援を行うためのスタートとして母子健康手帳の交付時に妊婦に対して面談をし、悩みに対する問題を明確化する。プランを作成し支援していくため今後も継続して実施する。	こども未来課
7	相談機関のネットワーク化	要保護児童対策地域協議会実務者会議(さわやか親子支援連絡会)を年12回開催し、問題を抱える家庭・児童について、児童相談所・警察・民生・児童委員等関係機関と対応の協議を行っている。 相談実人数　児童408人　成人56人	要保護児童対策地域協議会実務者会議(さわやか親子支援連絡会)を年12回、代表者会議を年1回開催し、問題を抱える家庭・児童について、児童相談所・警察・民生・児童委員等関係機関と対応の協議を行っている。 相談実人数　児童369人　成人57人	【継続】 分野を超えた相談支援体制の強化に努める。	こども未来課
8		主任児童委員(6名) 相談受付件数　216件	主任児童委員(6名) 相談受付件数　259件	【継続】 身近な相談相手として主任児童委員が近くにいることにより、地域住民が安心して相談しやすい環境ができている。主任児童委員により、適切な機関へ相談が繋がっていると考えられる。	地域福祉課
9		育児相談　実施回数12回　利用者延べ244人	育児相談　実施回数12回　利用者延べ206人	【継続】 子育て支援体制の強化のため今後も実施する。	こども未来課
10		ヤングダイヤルこさいでの電話相談は、市民活動センター(月・水・金)・西部地域センター(火・木・土)で受付しており、学校生活、進路関係等、11件の相談を受けた。	ヤングダイヤルこさいでの電話相談は、市民活動センター(月・水・金)・西部地域センター(火・木・土)で受付しており、学校生活の相談を2件受けた。	【継続】 引き続き周知を行い、必要なときに相談できる場とする。	スポーツ・生涯学習課
11	子育てに関する情報提供機能の強化	のびりんでの行事や講座情報を掲載したのびりん通信を毎月1日に発行し、市内外の公共施設及び民間店舗等計10箇所で配架した。ウェブサイトにも周知した。 子育て講座情報は、LINEにて月2回配信。	子育て支援センターでの行事や講座情報を掲載した通信を毎月1日に発行し。市内外の公共施設及び民間店舗等計10箇所で配架。ウェブサイトにも周知。 子育て講座情報は、LINEにて月3回配信。	【継続】 様々な情報提供ツールを活用し、子育て支援事業の周知をすることが、支援サービスの充実につながるため。	こども未来課
12		母子保健事業関連の教室や健診日程の周知をLINEにて月に2回配信、予防接種や健診等に関する情報を広報、ウェブサイト等で周知	母子保健事業関連の教室や健診日程の周知をLINEにて月に2回配信、予防接種や健診等に関する情報を広報、ウェブサイト等で周知	【継続】 今後も広報、ウェブ、ライン等で情報配信を継続して行う。	こども未来課
13	放課後子ども教室の充実	わくわく子ども教室を1学級あたり年間10回、定員20名で鷺津小・岡崎小・新居小は2学級制、東小・知波田小・白須賀小は1学級制で募集し、参加児童数は170名で各種の体験活動を実施した。参加児童には放課後児童クラブ加入児童も含まれ、放課後児童クラブと一体型又は連携型により実施した。 放課後子どもプラン推進事業運営委員会を開催し計画検討・実績検証を行った。	わくわく子ども教室を1学級あたり年間10回、定員20名で鷺津小・岡崎小・新居小は2学級制、東小・知波田小・白須賀小は1学級制で募集し、参加児童数は167名で各種の体験活動を実施した。参加児童には放課後児童クラブ加入児童も含まれ、放課後児童クラブと校内交流型又は連携型により実施した。 放課後子どもプラン推進事業運営委員会を開催し計画検討・実績検証を行った。	【継続】 わくわく子ども教室を、放課後児童クラブと校内交流型又は連携型により、市内小学校全校(6校)で実施することを継続する。 放課後子どもプラン推進事業運営委員会で計画検討・実績検証を行うことを継続する。	スポーツ・生涯学習課
14	保育施設の確保	保育園4園、こども園6園、小規模保育事業所2園 2・3号認定　定員　990人 3月末利用者　1,012人	保育園3園、こども園7園、小規模保育事業所2園 2・3号認定　定員　987人 3月末利用者　1,012人	【継続】 保育受け入れ態勢確保のため、公立こども園の定員拡充と、民間保育施設の新設に向けた事業者公募の準備を進める。	保育幼稚園課
15	延長保育の充実	入所者1,012人中、利用者243人(述べ6,292人)。 内、1時間利用者1,724人、30分利用者4,568人。	入所者1,010人中、利用者279人(述べ5,437人)。 内、1時間利用者1,339人、30分利用者4,098人。	【継続】 保護者の多様な保育ニーズに合わせ、働きながら子育てをしやすい体制づくりに資する。	保育幼稚園課
16	一時預かり事業の充実	保育園一時預かり事業(保育園3園、こども園6園、小規模2園) 利用者　68人(述べ1,252人) 幼稚園一時預かり事業(幼稚園2園、こども園3園) 利用者　152人(述べ6,701人) 公立こども園緊急一時預かり(こども園2園) 利用者　15人(延べ514人)	保育園一時預かり事業(保育園2園、こども園7園、小規模2園) 利用者　87人(述べ1,284人) 幼稚園一時預かり事業(幼稚園1園、こども園3園) 利用者　322人(延べ7,285人) 公立こども園緊急一時預かり(こども園2園) 利用者　9人(延べ975人)	【継続】 令和6年4月の待機児童はゼロであったが、1・2歳児の入所待ち児童が多く発生したため、緊急一時預かり事業を公立こども園で実施した。公立幼稚園・こども園における長期休園日の一時預かり事業は継続実施する。入所待ち児童解消の一助とし、働く保護者の負担軽減を図る。	保育幼稚園課
17	病児・病後児保育の実施	実績なし。	実績なし	【検討】 保育園・こども園在園中の体調不良児については、看護師の配置ができた園で実施している。 付設設備における病児・病後児保育事業の実施がないため、事業を実施する民間保育施設に対する補助金制度を創設する。	保育幼稚園課

地域子ども・子育て支援事業【任意】行動計画

連番	事業名	令和５年度実績	令和６年度実績	令和７年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
18	障がい児保育の整備	こども未来課、医療機関（家庭を通して）等と情報を共有し、相談するなどし、保護者との連携を密にしながら行っている。	こども未来課、医療機関（家庭を通して）等と情報を共有し、相談するなどし、保護者との連携を密にしながら行っている。	【継続】 関係機関と連絡を密にし、支援に努める。	保育幼稚園課
19		発達支援の部屋(取り出し保育) 公立1園×5人×10回	発達支援の部屋(取り出し保育) 公立3園×20人×9回	【継続】 保育サービスの充実(障害児保育の整備)として公立園において取り出し保育を開始した。園における支援の充実に資する事業であるため引き続き実施する。	こども未来課
20	放課後児童クラブの充実	12クラブ16単位の放課後児童クラブを委託により実施。 年度当初登録児童数663人。延べ利用人数94,881人。 放課後児童支援員認定資格研修修了者、5名。	12クラブ16単位の放課後児童クラブを委託により実施。 年度当初登録児童数673人。延べ利用人数97,571人。 放課後児童支援員認定資格研修修了者、3名。	【継続】 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対して、放課後等に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るため。	教育総務課
21	認定こども園への移行の検討	真愛保育園の幼保連携型認定こども園移行について、調整・認可申請。	真愛保育園が幼保連携型認定こども園へ移行し、真愛白須賀こども園として運営開始。 ヒーローズこさいこども園の保育所型認定こども園への移行について、調整・認可申請。	【継続】 施設の老朽化及び量の確保のため、個別の計画立案に努める。	保育幼稚園課
22	地域子育てサークルへの支援	子育てサークル等への施設無料開放 18回 延べ307人 (調理室・和室・会議室 等)	子育てサークル等への施設無料開放 14回 延べ84人 (調理室・和室・会議室 等)	【継続】 子育て中の親子の居場所づくりのひとつとして、子育てサークル等への施設無料開放は必要であるため継続する。	こども未来課
23	ファミリー・サポート・センターの充実	会員数 298名 延利用者数 759名	会員数 281名 利用したこどもの延べ数 591名	【継続】 今後も提供会員数を増やして育児支援の担い手を増加していく。	こども未来課
24	こども医療費助成	乳幼児：入院 288件、通院 36,940件 児 童：入院 190件、通院 70,685件 高校生：入院 81件、通院 16,871件	乳幼児：入院 283件、通院 33,307件 児 童：入院 184件、通院 68,479件 高校生：入院 72件、通院 17,060件	【継続】 子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、こどもの疾病の早期発見と適正な治療を受けさせることを促進し、児童の健全な育成に資するため。	こども政策課
25	村田光雄奨学金	35 世帯 対象児童数 39 人	32世帯 対象児童数 37 人 1,670,000円	【継続】 高校に在学している母子家庭の児童に対する奨学事業を実施するため。	こども政策課
26	幼児教育・保育の無償化	子育てのための施設等利用給付 7,414千円 ①認可外保育施設保育料、一時預かり保育料（一般型） 3～5歳児：月額37,000円まで 0～2歳児（住民税非課税世帯）：月額42,000円まで ②新制度未移行幼稚園の保育料・入園料：月額25,700円まで ③一時預かり保育料（幼稚園型）：1日当たり450円まで ④新制度未移行幼稚園の副食費：月額4,700円まで	子育てのための施設等利用給付 6,835千円 ①認可外保育施設保育料、一時預かり保育料（一般型） 3～5歳児：月額37,000円まで 0～2歳児（住民税非課税世帯）：月額42,000円まで ②新制度未移行幼稚園の保育料・入園料：月額25,700円まで ③一時預かり保育料（幼稚園型）：1日当たり450円まで ④新制度未移行幼稚園の副食費：月額4,800円まで	【継続】（縮小） 法定事務であるため、今後も継続していく。ただし、新制度未移行幼稚園の新制度対応やこども園化が進んでいるため、本事業としては縮小を見込む。	保育幼稚園課
27	就労中の妊婦への健康支援の充実	母子手帳交付時に母性健康管理指導事項連絡カードの活用について説明 妊娠の届出数 278件	母子手帳交付時に母性健康管理指導事項連絡カードの活用について説明 妊娠の届出数 289件	【継続】 仕事をしながら妊娠・出産を迎えることに対し、不安を抱えている妊婦は多い。制度を紹介することで、不安を軽減し、安心して妊娠・出産を迎えてもらえるよう支援することが重要であるため。	こども未来課
28	事業所への育児休暇制度等の啓発活動の実施	企業向けメールマガジンで男女共同参画セミナー（育休取得制度、先進事例など）や働き方改革関連法、えるぼし認定、くるみん認定について情報発信。 市ウェブサイトにて「次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画について」（厚生労働省）へのリンクを掲載（継続）。	事業所向けLINEにて、男女共同参画、ワークライフバランスに関するセミナーやえるぼし認定、くるみん認定について情報発信を実施。 また、市ウェブサイトにて「くるみん認定」に関する情報、厚生労働省ウェブサイトのリンクを掲載（継続）。	【継続】 男性の育児休暇取得率は増加傾向にあるものの、女性と比較すると依然低い割合となっており、継続的な啓発活動が必要。	産業振興課
29	就業相談事業の充実	湖西市地域職業相談室（新居地域センター）にて、職業相談※と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 【職業相談】求人求職等相談7,634件、職業紹介1,056件 【内職相談】求職・求人相談165件、あっ旋件数41件	湖西市地域職業相談室（新居地域センター）にて、職業相談※と内職相談を実施。 ※職業相談はハローワーク浜松と市の連携事業 【職業相談】求人求職等相談6,129件、職業紹介878件 【内職相談】求職・求人相談159件、あっ旋件数44件	【継続】 利用件数が多く、市民のニーズが高いため。	産業振興課
30	ひとり親家庭への就業促進	教育訓練給付金 0人 高等職業訓練促進給付金 3人	教育訓練給付金 1人 高等職業訓練促進給付金 3人	【継続】 法令の趣旨に則りひとり親家庭の生活の安定と向上に資するため。	こども政策課
31	男女共同参画の意識の高揚を図るイベントの開催	・男性の育児休業に関する講座開催（2月） ・男女共同参画週間における図書館での特設コーナー設置（6月） ・『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について同感しない人の割合（市民意識調査結果）62.7%	・男女共同参画週間における図書館での特設コーナー設置（6月） ・男女共同参画×職業選択に関するイベント開催（8月） ・『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること（性別役割分担意識）について同感しない人の割合（男女共同参画・多文化共生に関する市民意識調査結果）49.0%	【継続】 今後も男女共同参画についてより理解しやすい内容の講演会やイベントを開催する。	市民課
32	世代間交流事業の充実	園への招待や施設へ出向き、祖父母や地域の老人、老人クラブ等との交流を実施。 保育園6園： 6回 こども園6園： 11回 幼稚園3園： 6回	園への招待や施設へ出向き、祖父母や地域の老人、老人クラブ等との交流を実施。 保育園5園： 6回 こども園7園：14回 幼稚園2園： 3回	【継続】 地域の人材、高齢者との交流により、豊かな人間性の構築に役立てる。	保育幼稚園課
33		・いきいきサロン：3回開催、高齢者延べ132人、園児延べ223人	・いきいきサロン：5回開催、高齢者延べ220人、園児延べ170人	【継続】 地域の通いの場である「いきいきサロン」活動で、地域の高齢者との交流を促進していく。	高齢者福祉課

連番	事業名	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
34	母子健康手帳の交付	妊娠の届出数 278件	妊娠の届出数 289件	【継続】 妊娠中の生活で気をつけてもらいたいことを妊娠初期に伝えることで、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群等の予防につなげる。また、産後のリスクを事前に把握し、安心して子育てできる支援体制をつくっていく。	こども未来課
35		講座という講義形式をとらず母子手帳交付時に保健師が1人1人面接をし妊娠中の体のことや産後についての話をした。	講座という講義形式をとらず母子手帳交付時に保健師が1人1人面接をし妊娠中の体のことや産後についての話をした。	【継続】 講座という形式をとらず個々のケースにあわせて妊娠中の生活で気をつけてもらいたいことを妊娠初期に伝えることで、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群等の予防をする必要がある。 また、産後のリスクを事前に把握し、安心して子育てできる支援体制をつくっていく。	こども未来課
36	プレパパ・ママ教室の充実	年6回 59組参加	令和6年度から第1子だけではなく第2子以降の出産を迎える方も対象とし毎月開催を実施している。 年12回 67組参加	【継続】 妊婦とそのパートナーが、子どもが生まれてからの生活がイメージでき不安なく出産・育児に臨めるよう支援していく。	こども未来課
37	産後ケア事業の充実	宿泊型実人員 9名延べ24日 デイサービス型人員 1名延べ7日 訪問型人員 1名延べ3日	宿泊型実人員 8名延べ36日 デイサービス型人員 3名延べ9日 訪問型人員 3名延べ10日 授乳等相談事業 ・デイサービス型人員 2件 ・訪問型人員 10件	【継続】 出産後の母子が安心して育児に取り組めるよう、産科医療機関や助産院で産後ケアを受けられる体制をさらに充実させていく。併せて、こうした支援制度の存在を多くの方に知ってもらうため、広く周知にも取り組む。また、出産後2か月までの産婦を対象に、市立湖西病院や市内の助産院で気軽に相談できる「授乳等相談事業利用券」を配布し、育児に対する不安の軽減を図る。	こども未来課
38	こんにちは赤ちゃん全戸訪問事業の充実	赤ちゃん訪問 302件	赤ちゃん訪問 242件	【継続】 生後2か月までに赤ちゃん訪問を行うことで、育児相談だけでなく産後の不安解消につなげることができる。地区担当で訪問を行うことで今後も相談体制の充実を図っていく。	こども未来課
39	はじめてのママ教室の充実	はじめてのママ教室年4回 参加人数 実人員44人	子育て支援センターで実施しているたまごちゃんに移行	【変更】 毎月継続して実施している既存の事業に変更することで、単発事業ではなく継続性をもって、教室に参加することができる。また第1子をもつ母だけでなく同じ世代の子をもつ親同士が集まる教室に参加することで、お互いの情報交換を行い育児不安を解消していく。	こども未来課
40	離乳食教室の充実	子どもの発達に合わせた離乳食の内容や進め方について4か月児を持つ保護者へ実施。 年12回 103人	子どもの発達に合わせた離乳食の内容や進め方について4か月児を持つ保護者へ実施。 年12回 95人	【継続】 離乳食の正しい知識の普及と仲間づくりのための場となっているため。	こども未来課
41	すくすく育児教室の充実	食事の確立及び口腔機能の発達を促すため離乳食の適切な進め方を7～8か月児を持つ保護者へ実施。 年12回 169人	食事の確立及び口腔機能の発達を促すため離乳食の適切な進め方を7～8か月児を持つ保護者へ実施。 年12回 147人	【継続】 乳児の成長・発達に関する知っておいて欲しい情報を伝え、個別相談を行うことで、子育ての不安や悩みを解消できる場としているため。	こども未来課
42	健診事業の充実	受診者数 ・4ヶ月児健診 318人（受診率 102.5%） ・10ヶ月児健診 309人（受診率 93.9%） ・1歳6か月児健診 303人（受診率 102.7%） ・3歳児健診 343人（受診率100.0%）	受診者数 ・4ヶ月児健診 245人（受診率 98.4%） ・10ヶ月児健診 285人（受診率 100%） ・1歳6か月児健診 298人（受診率 96.4%） ・3歳児健診 346人（受診率100%）	【継続】 発達の節目の健診を実施し、子どもの健やかな成長を促す。	こども未来課
43	予防接種事業の充実	A類疾病の予防接種の実施	A類疾病の予防接種の実施	【継続】 法的に義務付けられており、実施しなければならない。	こども未来課
44	歯科保健事業の充実	フッ化物塗布 1歳6ヶ月児健診289人 2歳児教室 272人 3歳児健診 308人 フッ化物洗口 実施者数 635人 実施回数 延べ2864回	フッ化物塗布 1歳6ヶ月児健診 279人 2歳児教室 244人 3歳児健診 307人 フッ化物洗口 実施者数570人 実施回数 延べ2837回	【継続】 幼児期の生活行動の拡大に伴い食習慣よりむし歯が発生する時期で、健康な歯を維持、予防が大切である。児の歯への関心を深めるとともにフッ化物塗布事業は必要である。	こども未来課
45	夜間・休日における小児医療機関の情報提供の充実	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供してもらい市民からの問い合わせに対応できるようにしている。	広報紙、新聞、ウェブサイト等に情報を掲載する。さらに、長期休暇時の医療機関の診療状況を医師会から情報提供してもらい市民からの問い合わせに対応できるようにしている。	【継続】 今後も継続して実施していく	こども未来課
46	不妊に関する支援の充実	特定不妊治療費助成件数 実1組（延べ1組） 不育症治療費助成件数 0	特定不妊治療費助成件数 実4組（延べ4組） 不育症治療費等助成 0組	【継続】 少子化対策の一環として行われている事業であり、不妊で悩む夫婦の経済的な支援として継続して実施する。	こども未来課
47	育児家庭訪問事業の推進	乳幼児訪問 実397人	乳幼児訪問 実309人	【継続】 育児不安や養育的な不安があるなど課題を抱えた家庭への支援は虐待予防の視点からも重要である。	こども未来課
48		家庭児童相談係担当、子育て応援係保健師、家庭児童相談室相談員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護児童対策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	家庭児童相談係担当、子育て応援係保健師、家庭児童相談室相談員が訪問指導を行っている。母子保健福祉検討会、要保護児童対策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	【継続】 子育て世帯訪問支援事業開始。 子育て家庭へのきめ細かな支援に努める。	こども未来課
49	障がいがある子どもへの支援の充実	医療機関への紹介 4件 幼児発達相談 11回 延べ20人 発達相談 延べ74人	発達相談 延べ242人	【継続】 地域子育て支援第1係ができたため保育現場の園との連携や就学を見据えて学校教育課との連携を深め、今後も相談支援体制の充実を図る。	こども未来課
50		特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。令和5年度は、小中学校に32名を配置している。個別の支援を充実させるために、小中学校の要請により専門家を派遣し、巡回相談を実施している。	特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。令和6年度は、小中学校に33名を配置している。個別の支援を充実させるために、小中学校の要請により専門家を派遣し、巡回相談を実施している。	【継続】 支援・配慮を必要とする児童生徒が増加しているため、同規模の支援員数を保持して、継続していく。また、巡回相談の活用についても、積極的に呼びかけていきたい。	学校教育課
51		こども未来課と連携し、障がいのある子どもの情報交換や相談を実施。 幼稚園 3園 情報交換・相談3人療育機関への接続6人 保育園 6園 情報交換・相談9人療育機関への接続5人 こども園6園 情報交換・相談8人療育機関への接続25人	こども未来課と連携し、障がいのある子どもの情報交換や相談を実施。 幼稚園 2園 情報交換・相談3人療育機関への接続4人 保育園 5園 情報交換・相談3人療育機関への接続8人 こども園7園 情報交換・相談20人療育機関への接続25人	【継続】 情報を共有し、子どもや保護者への支援を共通にする。	保育幼稚園課

連番	事業名	令和５年度実績	令和６年度実績	令和７年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
52	発達に遅れがみられる子どもへの相談・支援事業等の充実	幼児発達相談 11回 延べ20人 発達相談 延べ74人	心理士の勤務日数を増やし、発達相談として統合 発達相談 延べ242人	【継続】 発達面が気になる子どもがいる保護者や園の職員が必要な時にすぐ相談できる場となるよう、随時相談を行う体制を構築する。	こども未来課
53	子育て中の外国人家庭への支援の充実	訪問 17回 通訳配置 1歳6か月児健診 5回 2歳児教室 3回 3歳児健診 6回	訪問 14回 通訳配置 1歳6か月児健診 5回 2歳児教室 5回 3歳児健診 5回	【継続】 外国人母子の健康の保持、増進のため必要な指導、支援を行うために、通訳の配置が必要。	こども未来課
54	虐待の予防と早期発見への取組の強化	家庭児童相談係、子育て応援係が相談窓口の設置のほか、訪問指導等を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	家庭児童相談係、子育て応援係が相談窓口の設置のほか、訪問指導等を行っている。母子保健福祉検討会、要保護対策地域協議会において関係機関と情報共有し対応を協議。	【継続】 こども家庭センターの設置とともに、より一層連携体制の強化を図っていく。	こども未来課
55		赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 273 人	赤ちゃん訪問時産後うつ 自己チェックの実施 214 人	【継続】 赤ちゃん訪問時母の気持ちを知るためのアンケート(産後うつ 自己チェック表)を実施し早期に悩みに対応していく。	こども未来課
56		DVについてはその疑いがあるものを含め、数件あがった。学校で把握した場合には、西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室、市民課等とも連携をとり、個別に対応した。	DVについてはその疑いがあるものを含め、数件あがっている。学校で把握した場合には、西部児童相談所や湖西市家庭児童相談室、市民課等とも連携をとり、個別に対応している。	【継続】 DV被害の事案が発生した場合、関係機関との連携を密にしていきたい。	学校教育課
57		こども未来課と連携し、各園との情報交換及び相互に情報提供を行い、対応を相談している。	こども未来課と連携し、各園との情報交換及び相互に情報提供を行い、対応を相談している。	【継続】 虐待の予防と早期発見、適切な見守りや支援を行う。	保育幼稚園課
58	歯とからだの健康まつりの充実	・「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」を実施 ・8020歯科健診（後期高齢者医療広域組合が実施）の受診勧奨通知を発送（翌年の8020表彰対象の健診であることを周知） ・「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」を実施 ・コーちゃんフェスタにブースを出展し、大人用・子供用の歯科に関するクイズコーナーを設置（参加者数 195人） ・湖西病院いきいきフェアへブース出展し、大人も子供も参加できる歯のクイズコーナーを実施した。（参加者数 69	・8020歯科健診（後期高齢者医療広域組合が実施）の受診勧奨通知を発送（翌年の8020表彰対象の健診であることを周知） ・「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」を実施（継続） ・コーちゃんフェスタに健康増進課のブースを出展し、大人用・子供用の歯科に関するクイズコーナーを設置（参加者184人）	【継続】 幅広い年齢層に対し「歯の健康に関する啓発」を継続する。	健康増進課
59	親子料理教室の充実	(湖西市健康づくり食生活推進協議会) ・親子料理教室を開催（5回、参加者合計90名） ・学童保育利用者に対し、おやつ配布と食事に関する紙芝居の読み聞かせを行った(市内学童保育5か所、189名) (健康増進課) ・父と子のヘルスアップセミナーの開催（1回、16名） 市内小学5,6年生とその父親を対象に、健康教育、ベジチェック測定、ソルセイブ、野菜の重さクイズ、調理実習を実施	(湖西市食育ボランティア) ・親子料理教室の開催（2回、参加者合計52人） (健康増進課) ・父と子のヘルスアップセミナーの開催（1回、5組10人）	【変更】 ・親子料理教室は、健康づくりの啓発と調理体験を通した親子のふれあいと、共食の場として継続する。 ・父と子のヘルスアップセミナーは参加者が少ないことから廃止する。	健康増進課
60	学校等における思春期の保健対策の充実	・こころの健康についての講話(湖西高校139名、新居高校117名) ・ゲートキーパー養成講座（新居高校128名） ・自殺対策予防週間の街頭キャンペーンの実施（市内6箇所で開催、相談窓口チラシの配布 計600個） ・自殺対策強化月間の図書館展示（啓発品、相談窓口チラシの配布 計250個） ・市内の工場1か所での相談窓口啓発（啓発品、相談窓口チラシの配布 計200個）	・こころの健康についての講話（市内の高校2校の3年生、市内1校の中学生及び2校の小学6年生）参加者414人 ・自殺対策予防週間の街頭キャンペーンの実施（市内6か所で啓発品、相談窓口チラシの配布 計600個） ・自殺対策強化月間の図書館展示（啓発品、相談窓口チラシの配布 計250個） ・市内の工場1か所での相談窓口啓発（啓発品、相談窓口チラシの配布 計200個）	【継続】 市内2校の高校3年生に「こころの健康について」の講話を実施予定。 市内の中学生にも「こころの健康について」の講話の実施を検討する。 自殺予防週間・自殺対策強化月間の事業も継続する。	健康増進課
61		中学校段階において、思春期の性について助産師や保健師をまねき、授業で取り組んでいる学校がある。	中学校段階において、思春期の性について助産師や保健師をまねき、授業で取り組んでいる学校がある。	【継続】 学校間で差があるが、学校の実態や保健教育の方針を踏まえた上で実施を拡大できるよう呼びかけていきたい。	学校教育課
62	親子運動遊びの充実	体育指導員による幼稚園親子運動遊び（3～5歳児対象） 公立幼稚園3園、公立こども園1園 各年齢年2回（内、親子1回） 外部講師によるリトミック（3～5歳児対象） 公立こども園1園、各年齢年2回	体育指導員による幼稚園親子運動遊び（3～5歳児対象） 公立幼稚園2園、公立こども園1園 各年齢年2回（内、親子1回） 外部講師によるリトミック（3～5歳児対象） 公立こども園1園、各年齢年2回	【継続】 家庭での遊びを広げ、幼児と親の関わりを深める。	保育幼稚園課
63	ブックスタート事業の充実	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタートを実施。	中央・新居図書館で、毎月1回6か月の赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタートを実施。	【継続】 本を介して親子でふれあうことの大切さを伝える。	図書館
64	親子読書の推進	絵本貸し出し数（家庭での親子読書数） 公立幼稚園3園： 3,685冊（在園児159人） 公立こども園2園： 7,116冊（3歳以上児285人）	絵本貸し出し数（家庭での親子読書数） 公立幼稚園2園： 3,223冊（在園児126人） 公立こども園2園： 6,608冊（3歳以上児270人）	【継続】 人間形成の基礎となる豊かな心情や想像力を培う。	保育幼稚園課
65	外国語に触れる機会の充実	A L T派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園3園、こども園2園4・5歳児対象 平均年4.4回	A L T派遣による「英語で遊ぼう」 公立幼稚園2園、こども園2園4・5歳児対象 平均年4.8回	【継続】 英語や外国の異文化に触れ、慣れ親しむ。	保育幼稚園課
66	環境教育の推進	「総合的な学習の時間」を活用し、ジオトープをつくったり、市内の民間企業を見学をしたりして、環境について学習している。学校によっては、環境課と連携を図り、アースキッズ体験を実施し、省エネについても学習している。	「総合的な学習の時間」を活用し、ジオトープをつくったり、市内の民間企業を見学をしたりして、環境について学習している。学校によっては、環境課と連携を図り、アースキッズ体験を実施し、省エネについても学習している。	【継続】 子どもたちが自分たちの生活を取りまく環境をよりよくしようとする意識を高められるよう令和7年度も継続していく。	学校教育課
67	思い出に残る1学校1行事創造事業の推進	子どもたちが豊かな体験をすることができるように、長距離ウォークやスキー教室等、各校で工夫した教育活動を実施している。	子どもたちが豊かな体験をすることができるように、長距離ウォークやスキー教室等、各校で工夫した教育活動を実施している。	【継続】 豊かな体験を通して子どもたちの心身の健康を育むこと、思い出づくりをねらいとして、令和7年度も継続していく。	学校教育課
68	生きた英語教育推進事業の充実	市内小・中学校に外国人英語指導助手（ALT）を派遣し、児童生徒等の英語コミュニケーション能力の育成、異文化理解の促進を行った。 令和5年度は4名のA L Tと派遣契約した。	市内小・中学校に外国人英語指導助手（ALT）を派遣し、児童生徒等の英語コミュニケーション能力の育成、異文化理解の促進を行った。 令和6年度は4名のA L Tと派遣契約した。	【継続】 令和2年度から小学校英語教科化、3・4年生の外国語活動の全面実施となり、コミュニケーション能力の育成はより一層重視されている。令和7年度も同数のA L Tを配置し、継続していく。	学校教育課

地域子ども・子育て支援事業【任意】行動計画

5/6

連番	事業名	令和５年度実績	令和６年度実績	令和７年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
69	外国人児童生徒への教育支援の充実	外国人児童生徒適応指導員を配置し、日本での生活や学校生活、ルールなどを理解するための支援を行った。また通訳員を配置し、教育相談、進路面談などの通訳、学校から配布する便りの翻訳などを行っている。(令和５年度は外国人児童生徒適応指導員２名、通訳員３名配置した。)	外国人児童生徒適応指導員を配置し、日本での生活や学校生活、ルールなどを理解するための支援を行う。また通訳員を配置し、教育相談、進路面談などの通訳、学校から配布する便りの翻訳などを行う。(令和６年度は外国人児童生徒適応指導員２名、通訳員３名配置した。)	【継続】 外国人児童生徒は増える傾向にあるので、同様の人数で学校配置を工夫しながら令和７年度も継続していく。	学校教育課
70	学校と保護者の協力関係の強化	必要に応じて個々面談等を実施したり、児童生徒の様子について電話や連絡ノート等を通じて家庭と連絡を取り合ったりした。	必要に応じて個々面談等を実施したり、児童生徒の様子について電話や連絡ノート等を通じて家庭と連絡を取り合ったりしている。	【継続】 学校だけで子どもを育てることは不可能なので、家庭との連絡は密にとっていきたいと考える。	学校教育課
71	安全教育推進事業の充実	小中学校において、令和５年度は学校行事として防災教室や交通安全教室を実施した。	小中学校において、令和６年度は学校行事として防災教室や交通安全教室を実施した。	【継続】 令和７年度についても学校行事とし、実施そのものを学校長判断とする。	学校教育課
72		幼稚園・こども園は、ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせた避難訓練を実施。	幼稚園・こども園は、ほぼ毎月、火事、地震等状況に合わせた避難訓練を実施。	【継続】 安心・安全教育の推進を図り、自分の身は自分で守る意識を育てる。	保育幼稚園課
73	家庭教育支援活動の充実	「ふたば学級」では市内で５学級開設し、66名が年間8回の講座を受講した。「家庭教育学級」は92名の保護者が全25回の講座の中から選択して活動を行った。	「ふたば学級」では市内で4学級開設し、54名が年間8回の講座を受講している。「親子ふれあい講座」は76名の保護者が全17回の講座の中から選択して活動を行う。 ※「家庭教育学級」は令和6年度より「親子ふれあい講座」に名称を変更した。	【継続】 「ふたば学級」「親子ふれあい講座」ともに活動を継続する。 家庭教育支援員を配置し、保護者への学習機会の提供等を行う。	スポーツ・生涯学習課
74	親子体験教室の充実	地域の環境保護保全活動を実施する団体（湖西フロンティア倶楽部）へ委託し、５～11月の間に自然観察・体験など6回の教室を開催した。親子で延436名の参加者であった。	地域の環境保護保全活動を実施する団体（湖西フロンティア倶楽部）へ委託し、５～11月の間に自然観察・体験など6回の教室を開催した。親子で延531名の参加者であった。	【継続】 委託により教室実施を継続する。	スポーツ・生涯学習課
75	子どものための良好な環境整備の推進	青少年補導員48人が、青少年の非行防止のため市内各地区ごとに街頭補導を実施した。 定例補導 月１～２回 特別補導 随時 実施回数 103回 参加人数 延505人(内補導員468人) 補導件数 0件	青少年補導員48人が、青少年の非行防止のため市内各地区ごとに街頭補導を実施した。 定例補導 月１～２回 特別補導 随時 実施回数 102回 参加人数 延494人(内補導員451人) 補導件数 0件	【継続】 定期的にパトロールや声掛けをすることにより、防犯意識を高め、非行や犯罪を起こしにくい地域とすることを目的に継続する。	スポーツ・生涯学習課
76	子どものための良好な環境整備の推進	月に１回、新居地区青少年補導員巡回（防犯パトロール）に対し、公用車の貸出を行った。	月に１回、新居地区青少年補導員巡回（防犯パトロール）に対し、公用車の貸出を行う。	【統合して継続】 従来より公用車の貸出を実績としているが、事業自体は「子どものための良好な環境整備の推進」の青少年補導の一環である。よって、本項目は「子どものための良好な環境整備の推進」事業に統合する。	新居支所 スポーツ・生涯学習課
77	交流活動の促進	医療的ケア児者の保護者の交流会の実施（６回） 民生委員児童委員協議会障害児者福祉部会との連携	医療的ケア児者の保護者の交流会の実施（１回） 民生委員児童委員協議会障害児者福祉部会との連携	【継続】 民生委員児童委員協議会障害児者福祉部会との連携 【継続】 医療的ケア児の保護者とのつながりは維持するが、発達障害児の支援の在り方をこども未来課と協議	地域福祉課
78	学校施設のユニバーサルデザイン化	新居小学校北校舎のトイレバリアフリー化工事（洋式化、ドライ化、多機能トイレの設置 等）を実施した。	新居小学校南校舎のトイレバリアフリー化工事（洋式化、ドライ化 等）、白須賀小学校トイレのバリアフリー化（洋式化、ドライ化 等）の設計を実施。	【継続】 小学校・中学校のトイレバリアフリー化（洋式化、ドライ化等）を進める。 白須賀小学校トイレのバリアフリー化工事（洋式化、ドライ化）、鷲津小学校トイレのバリアフリー化（洋式化、ドライ化等）の設計を予定。	教育総務課
79	特別支援教育推進事業	特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。 令和５年度は小中学校に32名配置している。	特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、通常学級に在籍している障がいをもつ子どもたちの支援にあたっている。 令和６年度は小中学校に33名配置している。	【継続】 支援・配慮を必要とする児童生徒が増加しているため、同規模の支援員数を保持して、継続していく。	学校教育課
80		軽度の発達障害や集団生活の困難さを抱えている公立幼稚園３園こども園２園の園児に対し、障害の緩和やパニック時の安全確保を中心とした対応・援助を行っている。 特別支援員12人配置。	軽度の発達障害や集団生活の困難さを抱えている公立幼稚園２園こども園２園の園児に対し、障害の緩和やパニック時の安全確保を中心とした対応・援助を行っている。 特別支援員13人配置。	【継続】 園児の障害の緩和及びパニック時の安全確保。	保育幼稚園課
81	言葉の発達に遅れがみられる子どもへの支援	岡崎小学校に通級指導教室を設置している。市内小学校から40名ほどの児童が利用している。「幼児ことばの教室」指導員、岡崎小学校通級指導教室指導員、学校教育課、幼児教育課で支援連絡会を定期的にもつことにより連携を図り、移行支援を充実させた。	岡崎小学校に通級指導教室を設置している。市内小学校から30名ほどの児童が在籍している。「幼児ことばの教室」指導員、岡崎小学校通級指導教室指導員、学校教育課、幼児教育課で支援連絡会を定期的にもつことにより連携を図り、移行支援を充実させている。	【継続】 岡崎小学校の通級指導教室指導員、幼児ことばの教室指導員、教育委員会事務局で連携を保ちながら、指導の充実・体制の充実を図りたい。	学校教育課
82		岡崎幼稚園：月～金曜日週１回、土曜日隔週１回、指導員２名により実施 通級28人、内３人に改善が見られ、退級。	岡崎幼稚園：火～金曜日週１回、土曜日隔週１回、指導員１名により実施 通級17人、内３人に改善が見られ、退級。	【継続】 軽度の言葉の発達の遅れ解消。	保育幼稚園課
83	子どもを守る防犯体制の強化	公立幼稚園３園、公立こども園２園に防犯カメラを設置。防犯訓練は各園年１回以上実施。 湖西警察署生活安全課等の協力を得て安全教室を開催。	公立幼稚園２園、公立こども園２園に防犯カメラを設置。防犯訓練は各園年１回以上実施。 湖西警察署生活安全課等の協力を得て安全教室を開催。	【継続】 園児の安全教育推進。	保育幼稚園課
84		実績なし。	実績なし。	【継続】 防犯カメラの整備を検討していく。 学校再編事業における湖西中学校統合改修工事実施設計において、防犯カメラの設置を検討。	教育総務課
85		小学校では3校、中学校では1校、防犯カメラが設置されている。 文部科学省から不審者の学校侵入防止対策の強化に関する通知を受け、各学校の危機管理マニュアルに不審者防止対策の項目を追加した。 防犯訓練については、引き続き各校で工夫しながら取り組んでいる。	小学校では3校、中学校では1校、防犯カメラが設置されている。 危機管理マニュアルについては、不審者防止対策の項目も含め毎年度見直しを図っている。 防犯対策や児童生徒に対する防犯教育については、引き続き各校で工夫しながら取り組んでいる。	【継続】 各校、工夫しながら防犯対策や児童生徒に対する防犯教育を進めていく。	学校教育課
86		同報無線と防災ほっとメールを利用した防犯情報の提供を実施している。(令和５年度実績16件) 防犯ボランティア団体による青色防犯パトロールの実施。	同報無線と防災ほっとメールを利用した防犯情報の提供を実施している。(令和６年度実績23件) 防犯ボランティア団体による青色防犯パトロールの実施。	【継続】 警察やその他の機関と連携し、防犯情報を市民に周知することは必要であるため。	危機管理課

地域子ども・子育て支援事業【任意】行動計画

連番	事業名	令和５年度実績	令和６年度実績	令和７年度の展望 (継続・変更・廃止の別及びその理由)	所管
87	地域による声掛け運動の推進	登校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による立哨。 下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立哨により、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あいさつ運動」をＲ５年度は３回実施。	登校時は、湖西市交通指導隊、交通ボランティア団体による立哨。 下校時は、地域の防犯ボランティア団体による立哨により、声掛け実施。始業式翌日の学校単位の「声掛け・あいさつ運動」をＲ６年度は２回実施（台風の影響で９月２日は中止）	【継続】 防犯・交通安全の観点から、子どもの安全を確保するため。	危機管理課
88	防犯灯の設置の推進	令和５年度設置箇所　９箇所	令和６年度設置箇所　１５箇所	【継続】 市民の安全を確保するため。	危機管理課
89	道路環境の整備	道路反射鏡修繕　８鏡 道路反射鏡新設　９鏡	道路反射鏡修繕　１５鏡 道路反射鏡新設　３鏡	【継続】 安全な道路整備を進める。	土木課
90	遊びの広場の利用促進	遊びの広場「わくわく」利用者数　　１７,６８８人	遊びの広場「わくわく」利用者数　１６,６７４人 遊びの広場「おぼと」（４月～１０月）利用者数　　９１３人 遊びの広場「にこりん」（１月～３月）利用者数　　２,１１６人	【変更】 地域子育て支援拠点施設が増設され市内に３箇所となることにより、より身近な場所で安心して子どもとふれあったり、保護者同士の交流の場ができる。	こども未来課
91		遊びの広場「おぼと」 開放日数　　２１９回 利用人数　　１,３２９人	遊びの広場として上欄へ統合	【変更】 遊びの広場として上欄へ統合	こども未来課
92	公園の安全管理	年４回実施（内１回は業者委託）	年４回実施（内１回は業者委託）	【継続】 定期的な点検を行い、安全で快適な公園を維持する。	土木課
93	若い世代の定住や移住の促進	申請件数：９８件 移住者：　２６世帯７４人 定住者：　７２世帯２４６人	申請件数：８１件 移住者：　２０世帯５０人 定住者：　６１世帯１９６人	【継続】 人口減少対策は市の地方創生施策として重要課題であり、ライフステージに合わせた特徴ある支援制度は定住意識の誘引に寄与すると考えられるため。	企画政策課
94	市営住宅の効率的な供給の推進	子育て裁量世帯の入居申し込み　　０件	子育て裁量世帯の入居申し込み　　１件	【継続】 住宅に困窮する子育て世帯に対して入居要件を緩和。	建築住宅課